

# もりさんかくしかくだより

令和6年度 8月号

社会福祉法人 東京児童協会  
新宿三つの木保育園もりさんかくしかく  
〒160-0015 東京都新宿区大京町 29 番地  
TEL: 03-6457-4455 FAX: 03-6457-4456  
morisankakushikaku@ookinaouchi.com



例年以上の暑さが予想されていましたが、今まで体験したことが無いほどの猛暑が続いています。改めて“ねらい”に合わせた活動を見直し、例年通りでなく、子どもたちの健康を守りつつ、夏の体験や運動遊びも大切にできるよう計画していきたいと思っております。

先日、夏祭りを行いました。4.5歳がグループになり、自分たちでお店の準備を行い、どうしたらお客さんが楽しんでくれるか、何を準備したらよいかを相談する姿に成長を感じます。失敗も大切な経験です。最短の成功を狙うのではなく、子どもたちが迷い、悩む時間も大切にできるよう見守りました。

当日も自分たちで考え声をかけたり、ルールを伝えたり、とても誇らしげにしており、その後、職員の話す裏話がかわいらしく、良い時間を過ごせたことを感じました。

行事は“行うこと”ではなく、“子どもたちが様々な経験をすること”を大切に、これからも取り組んでまいりたいと思います。

## 今年度も第三者評価アンケートを行い、皆様のご意見をお聞きしたいと思っております。

保護者の皆様のアンケート、職員のアンケート、自園での取り組みを、経営・保育を項目ごとに振り返るシート of 3項目を行い、第三者機関の方に内容確認、来園しての状況確認をしていただくことで、状況把握や分析ができる仕組みとなっています。

日々“子どもたちにとって何が良いか”を基準として活動や環境設定を行っておりますが、園だけの気持ちでなく、皆様の意見や考えをお聞きし、偏りない運営に繋げていきたいと考え、毎年アンケートを取り入れております。

ご意見はもちろん、良いと思っておられるところもぜひ記載いただきたいと思っております。改善点は見直し、良い部分はより伸ばし、子どもたちが楽しく、安心する中で“生きる力”“思いやり”“夢”“学びに向かう力”を育てまいりたいと思います。

お忙しい中とは存じますが、たくさんの方にご協力いただくことでより活かしていく事ができると考えておりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート実施予定：12月 中旬

結果は後日インターネットでも公表されます。

昨年度の結果もご覧いただけますので、ぜひ

見て頂ければと思います。 <https://www.fukunavi.or.jp/>



## 地域との関わり

四谷地区では四谷地区乳幼児支援機関関係者連絡会という子育ての支援を行っている施設が参加し、イベントの運営や情報の提供を行っております。

協力くださっている地域の力にもなれるよう、引き続き取り組んでまいりたいと思います。



# 行事予定


## ✿プール納めについて

7月からプール・水遊びの活動を始めておりますが、暑さ指数の関係で活動変更を行う日が多くなっています。8月も引き続き暑さ指数が高い日が予想されますが、こまめに活動場所の計測値を確認し、可能な日は時間調整を行いながら戸外に出て水遊びや泥遊びを楽しめるよう計画してまいります。

プール活動に関しては9月の暑さが和らいだ時期にたくさん行いたいと考えております。暑さ指数を確認しながらの計画となる為、プール納めの日程の決定が遅くなってしまいますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。



# 保育のページ

0歳児  
あひるぐみ



暑さが続き、こまめに水分補給を行ないながら過ごしています。イスや保育者の膝の上に座って、落ち着いて水分補給を行なえるようにしています。スプーンやコップを口に近付けると、ゆっくりと口を動かして白湯やお茶を飲む姿が見られます。最近では「ごちそうさまでした」と保育者が手を合わせると、一緒に手を合わせて挨拶をする姿もあります。今後も保育者が側で見守り、落ち着ける雰囲気作りを行なっていきたいと思っています。

テラスで水遊びを行いました。水に興味津々なあひる組の子どもたち。保育者がスポンジに水を含ませて渡すと、目を丸くして驚いたり、手を伸ばしてギュッと握ったりして、水の冷たい感触を楽しんでいます。水遊びの後半には水に慣れ、タライの水を掻き混ぜたり、バケツに入れた水をひっくり返したりして豪快に遊ぶ姿もありました。今後も安全に留意し、子どもたちが思い切り楽しめるよう、水遊びの活動を行っていききたいと思います。

## 🐣 今月の目標 🐣

- ◇ 特定の保育者とのふれあいを楽しみ、身近な物に興味を持って関われるようにする
- ❖ 夏ならではの感触遊びや自然に触れる



1歳児  
うさぎぐみ

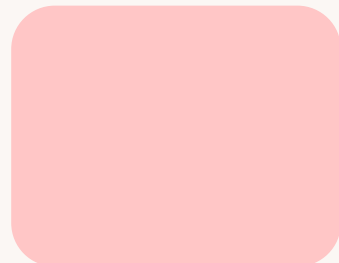
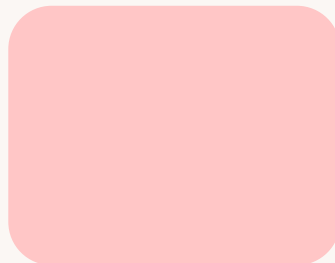


午睡では自ら布団に横になって入眠しており、子どもの方から「トントンして」や「トントンしない」と保育者に意思を伝えています。保育者はオルゴールを流しながら一人ひとりに合わせた入眠援助を行い、側で入眠を見守っています。また、一人で入眠したり起床後も落ち着いて布団に横になったりする子が増え、成長を感じています。引き続き安心して雰囲気作りを行いながら、十分な時間休息できるようにしていきたいと思っています。

歌を歌うことが好きな子どもたちは、遊びの中で誕生日ケーキに見立てたものを作り「ハッピーバースデートゥーユー」と歌を歌いながら友だちをお祝いする誕生会ごっこをして、友だちとの関わりを楽しんでいます。また、保育者と一緒に「きらきら星」や「むすんでひらいて」等様々な歌に興味を示して、歌ったり手拍子したりして音楽に親んでいます。今後も季節の歌や童謡等様々な音楽に沢山触れていけるようにしたいと思います。

## 🐣 今月の目標 🐣

- ◇ 保育者に見守られながら安心感を持って過ごせるようにする
- ❖ 季節ならではの遊びや植物に触れて夏に親しみを持つ



2歳児  
ひよこぐみ

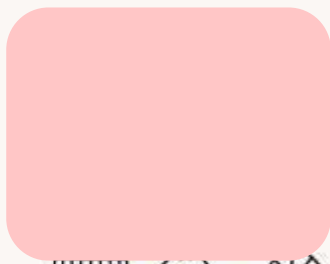


気温の高い日が続いています。戸外活動後と活動の切れ目に水分補給を行っています。保育者が声を掛けると、「お茶飲むよ!」「お外暑いから飲むんだよね」等と話しながら積極的に水分を取ろうとする姿が見られています。今後もこまめに水分補給をする時間を設けて快適に過ごせるようにしていきたいと思っています。最近は幼児コップを使用するようになり、「新しいコップだ!」「今日からこのコップなの?」と興味を持ちながら水分補給を行っています。

7月から水遊びが始まりました。水遊びに興味津々なひよこ組の子どもたちは全身で水遊びを行っています。「お水楽しいね!」「冷たくて気持ちいい!」と話しながら水や氷等の感触を楽しんでいます。室内でも水風船等の活動を取り入れ、水の冷たさや感触を楽しむ機会を設けると「びょーん」「どうしたら割れるかな?」等と言いながら楽しんでいます。今後も、夏ならではの遊びを楽しめるように活動を工夫していきます。

## 🐣 今月の目標 🐣

- ◇ 休息を十分に取り、夏を快適に過ごせるようにする
- ❖ 様々な素材に触れ、感触を楽しみながら想像力や発想力を広げる







今月の目標

3歳

◇夏の生活に必要な習慣を身につけられるようにする

❖ 自分の好きな遊びを十分に楽しみながら、友だちがしていることにも興味を示す

4歳

◇生活や遊びの中でルールや約束を守り行動し安定して過ごせるようにする

❖ 友だちと集団遊びをする

5歳

◇保育士等に見守られながら、一日を通し場所や目的に応じて声の大きさを意識して安定した気持ちで過ごせるようにする

❖ 友だちと夏ならではの遊びに取り組み、工夫したり試したりして遊ぶ

【夏祭りに向けて】

夏祭りに向け、ほし組つき組の子どもたちは、みんなが楽しめるコーナーを作りたいという思いから、お店屋さんの準備をしたり、ちょうちん、お神輿制作などを行ったりしています。お店屋さんはほし組、つき組の子どもたちが“どうしたらみんなの意見を取り入れることができるか”“どんなお店を作ったらみんなに喜んでもらえるか”を一生懸命考えながら決めています。その後の準備でも「こうしたら美味しそう!」「こうしたらいいんじゃない?」と子ども同士でアイデアを出し合い、認め合いながら準備を進めていく姿が沢山見られています。はな組もお店屋さんの準備を進める様子に少しずつ興味を持ち始め、ほし組やつき組の友だちに「何を作っているの?」「これ〇〇だ!」と聞いたり、作っている様子を真剣な表情で見たりしてお祭りに期待を膨らませていました。今後も子ども達の“こんなものが作りたい”という思いや興味関心を大切に、形にしていけるよう環境を整えていきたいと思っています。

【広がっていく遊び】

自分たちで考えながら遊ぶ中で、様々な遊びが広がっていく様子が見られています。画用紙に絵を描く中で「紙芝居作ろうかな」と紙芝居の作品に繋がったり、それを見ていた子が「私も絵本作りたい」と絵本を書いたり、子どもたちのオリジナルのお話が沢山生まれています。最近では粘土に興味があり、一人ひとりが想像力を膨らませながら個性あふれる作品を作り上げています。限られた席数の中で、みんなが楽しく遊べるように「予約表を作ればいいんだ!」と予約表を作るつき組の姿もあり、そのことからみんなが楽しく順番待ちをし、粘土をすることが出来ました。このように日々、子ども少しのきっかけから様々な発想が生まれ、遊びが次々と広がっていています。これからも子どもの遊びの発展や広がりにつながるような少しのきっかけを沢山作っていききたいと思います。

【裸足で遊ぶって楽しい!】

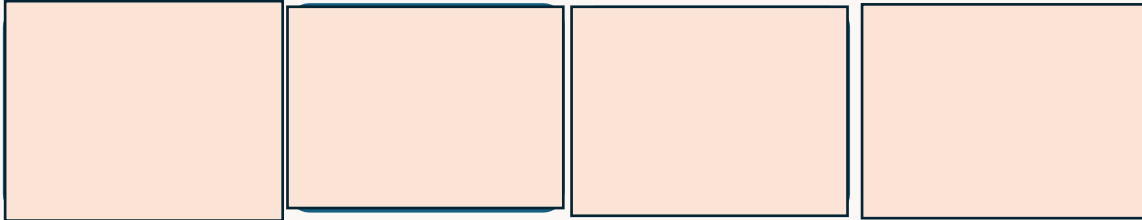
暖かくなり、裸足保育や泥遊びの活動も増えてきました。朝や夕方のお集まりで子どもたちに裸足保育をすることや泥遊びをすることを伝えると、「楽しみ!」「晴れるといいな」ととても楽しみにしています。裸足保育の際、裸足でころころ広場へ出ると足を砂の中に埋めてみたり、「砂は冷たいね」「歩くと少し痛いね」と砂の感触を楽しんだりしています。泥遊びの際も泥の上で足踏みをしたり、手で触ってみたりと泥の感触を楽しんでいます。型抜き遊び等、普段と同じ遊びをしていても少し感触が違う事や、水の通り道作りや、泥団子作り等、普段とは違った遊び方が出来ることに気が付きながら遊んでいます。気温が高い日が多く、限られた時間の中ではありますが、泥遊びや水遊びの楽しさを味わうことのできる充実した活動を行っていききたいと思います。



# 食育だより

## 先月の食育の様子

夏祭りでみんなが試飲した梅ジュースは1カ月前からつき組のみんなで作っています。氷砂糖と梅が上手く溶け合うように、つき組がおやつ後に毎日欠かさず振り交ぜて完成させた自信作です！



## 8月献立について

夏場は汗をかく事でビタミンB1やビタミンCが失われ不足しがちです。園では、ビタミンB1やビタミンCを多く含む豚肉や玉葱、トマトなどを使用した献立を提供し暑い夏にも負けない身体づくりができるような工夫もしています。夏の暑さで食欲が落ち、体が疲れやすくなる時期ですが、胃に負担がかからない消化の良い物をバランスよく摂りましょう。

## 季節のおすすめレシピ

### 【鶏肉と茄子のみぞれ煮】

〈材料〉 4人分

- ・鶏もも肉 240g
- ・片栗粉 大さじ1~2
- ・サラダ油 30g
- ・茄子 1本
- ・人参 1/2本
- ・大根 5cm
- ・オクラ 4本
- ・だし汁 150cc
- ・醤油 大さじ1
- ★・酒 大さじ1
- ・みりん 大さじ1
- ・上白糖 小さじ1



〈作り方〉

- ①人参と茄子は乱切りにカットし、大根はすりおろしておく。オクラは下茹でし、食べやすい大きさに切る。
- ②鶏肉に片栗粉をまぶし油で揚げるもしくは、揚げ焼きにする。
- ③人参を★の調味液で煮る。
- ④茄子を加え、油をきった②を入れ煮る。
- ⑤大根おろしを加えて煮る。
- ⑥器に盛り付け、オクラを添えて完成。



8月31日

～野菜の日～



8(や)3(さ)1(い)の語呂合わせから「野菜の日」とされています。

トマトやきゅうり、オクラといった夏野菜は水分カリウムを多く含み、身体を冷やしてくれる働きがあるので夏バテ予防にぴったりです。

野菜に触れてみよう



茄子は夏と秋に旬を迎えます。夏茄子は皮に厚みがあり、果肉も多く硬くなります。秋茄子の皮は薄く水分を含み柔らかいのが特徴です。同じ野菜でも食感に違いがあります。料理に使っている野菜を子どもたちと一緒に洗い、触感や匂いなどの違いを楽しんでみてはいかがでしょうか。



気温がぐんぐんと高くなり、心弾む夏がやってきました。子どもは体温調節機能が未熟で、大人よりも暑さの影響を受けやすいので注意が必要です。元気そうに見えても、身体は疲れていることもあるので、体調の変化に気をつけて、休息を心掛けるようにしてください。



## 暑い夏を乗り切るポイント



### ① 水分補給

大量に汗をかくと脱水症状を起こし、熱中症の原因にもなります。暑い日には、知らず知らずのうちにじわじわと汗をかいていますので、活動強度にかかわらず、のどが渇く前のこまめな水分補給を心掛けましょう。



### ② 室温管理

外は猛烈な暑さで、室内は冷えすぎてしまうと体温調節が難しくなってしまいます。そのため、室温設定 27~28℃を目安にエアコンを上手に使いましょう。また、エアコンの風に直接あたらないようにすることも大切です。



### ③ 皮膚のケア

夏はたくさん汗をかくので様々な肌トラブルが起こりやすく、なかでもあせもが多い時期です。皮膚のトラブルを悪化させないためにも以下のポイントや毎日のケアが大切です。



- ・薄着にする
- ・吸湿性の良い肌着を着る
- ・汗をかいたら着替える、タオルで拭く、シャワーで流すなどして肌を清潔に保つ

## 8月7日 鼻の日（鼻水はどうして出るの？）

**鼻水の原因：**①アレルギー反応による炎症 ②ウイルス感染による鼻風邪（ウイルスによって鼻の粘膜が刺激されると、鼻づまりや鼻水が垂れるなどの症状が起こります。）

**子どもの鼻の特徴：**子どもの鼻の中は狭く、鼻と耳をつなぐ耳管が太く水平のため、ウイルスが入りやすい構造になっています。また、子どもの鼻は、ちょっとした環境の変化で鼻水の分泌が増えやすいです。

**鼻水が詰まるとどうなる？**

- ・中耳炎になってしまうことがあります（鼻と耳は耳管という管でつながっています。ウイルスや細菌を含んだ鼻水が耳管へ流れ込み中耳に入ると炎症を起こし中耳炎になってしまうことがあります。）
- ・目やまぶたが腫れることがあります（目と鼻は鼻涙管（びるいかん）という管でつながっています。鼻がつまると鼻涙管の出口がふさがれ、涙が逆流し、目やまぶたが腫れることがあります。）
- ・うまくミルクが飲めなくなる場合があります（乳児期は主に、ミルクを飲みながらできる鼻呼吸をしています。そのため鼻が詰まってしまうと息がしづらだけでなく、うまくミルクが飲めなくなる場合があります。）

このように鼻水が詰まると息が苦しいだけでなく、他の病気を誘発したり、様々な影響があります。「鼻水だから」と放置せずに、こまめにケアすることが大切です。

## 頭囲・胸囲について

厚生労働省の指示により実施していた年2回の定期的な頭囲胸囲測定につきまして、この度、正確な測定が不可能で、定期的な測定は必要ないとの判断の周知がありました。

これを受け、園においても実施しないこととなりました。

なお、入園時や成長の過程で必要な際には測定を実施いたしますので、お気づきの点などございましたら、お声かけください。

